



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名：聖路加国際病院 泌尿器科 新保 正貴

【研究責任者】

聖路加国際病院 泌尿器科 新保 正貴

ロボット支援下前立腺全摘除術および拡大リンパ節郭清の方 を対象とした手術手技方法に関する研究

1.研究の対象

2013年5月～2018年12月に当院にてロボット支援下前立腺全摘除術および拡大リンパ節郭清術を受けられた方。

2.研究の目的・方法

現在、悪性度がやや高めの方（中間リスク-高リスク）には前立腺全摘除術と同時に行う骨盤リンパ節郭清がガイドラインで推奨されています。

しかし、これまで系統だった郭清方法の記述は少ないのが現状です。

私たちは、リンパ節郭清の方法として、尿管と下腹神経を包む面を丁寧に展開することで、ロボット支援下でのリンパ節郭清を行ってきました。本研究では、この手技を導入したことによる効果、変化について明らかにすることを目的としています。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2022年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》病歴、合併症、年齢等

《検査の情報》術前の癌の状況、手術による病理学的因子、摘出したリンパ節の個数、手術時間等